

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

農福連携、ビニールハウスが「居場所」
(2面)

- ユニゾンの図書館、新着図書紹介
- シニアカレッジ30周年記念行事案内
- 糸魚川白嶺高等学校のボランティア活動報告

11月号
2018
第795号



絵 高橋 郁丸「鮭のオオスケコスケ」(漫画家・新潟市中央区)・文 11面

巻頭

ビニールハウスは誰もが集える居場所 新潟市西蒲区で農福連携の試み5カ月

誰でも気軽に集える農作業用ビニールハウスの居場所「marugo-to（まるごと）」が新潟市西蒲区でスタートして5カ月。多い日には20人ほどが参加し、野菜を育て、木作業や角田山を眺めながらのティータイムを楽しんでいます。代表の岩崎典子さんは「形になってきた」と農福連携の試みに手応えを感じています（関連記事12面）。

「marugo-to（まるごと）」は高齢者、とりわけ定年後に周囲とのつ

ながりを失いがちな男性や子供たち、ひきこもりや認知症のある人も、個性と経験を生かし、



岩崎さん（前列左から2人目）ら笑顔あふれる参加者

自分の役割を持つて行く（go-to）ことができる場所を目指しています。新潟市西蒲区社会福祉協議会や有志が構想を練り、名称には全ての人の（丸ごと）に利用してほしい



ホッと一息。ピザも次々と焼かれる

いこの思いが込められています。畑とハウスは岩崎さんが提供しています。

農作業では、ナスやトマト、きゅうり、枝豆、ねぎ、ゴーヤ、サツマイモなどを作り、木作業では、ヒノキの端材を活用した「マルゴートブロック」を製造しています。切断し、ヤスリがけと焼き印を押す一連の



慎重にケヤキの端材を切断



畝を作って、種まき

作業。衣類の防虫・防臭と気分をリラックスさせる効果があると云います。

訪れた日、ハウス前のピザ窯では、畑から収穫したばかりのシシトウをトッピングしたピザやサツマイモが焼かれ、ティータイムのテーブルに並べられました。「ピザがおいしいよ。食べて、食べて」と声が掛かります。ハウス内で、手際よく畝づくりをしていた

参加者もお茶を飲みながら一息入っていました。

「ヒノキの切断を担当していた菅井憲秀さんは「今までと違った人たちと交流できる。そうしたコミュニケーションのなかった農作業などの楽しさがある」と話します。ケヤキの切断時の安全装置は、好きな日曜大工の腕前を生かして作ったそうです。

ビニールハウスの居場所「marugo-to」

◇日時 毎週月曜日 9時30分～12時30分

◇場所 新潟市西蒲区松野尾

◇参加費 200円（茶菓子代）

※問い合わせ 西蒲区社会福祉協議会 0256 (73) 3356

ユニゾンの図書館で読書の秋

新着図書90冊、気軽に楽しもう

読書の秋です、「ユニゾンの図書館」（新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム）で新着図書90冊[※]表参照[※]を讀みませんか。新たに加わったのは、購入した図書約30冊と新潟医療福祉大学図書館から新しく借用した図書約60冊です。「ユニゾンの図書館」は社会福祉や女性関係の分野の専門図書館ですが、気軽に楽しく読める入門書や関連する分かりやすい本もたくさん用意しています。この機会に介護や福祉の世界に触れてみませんか。専門職の皆さんも、ぜひ利用してください。



新たに購入した「複合介護」など

購入した図書は、実務書の「実例 弁護士が悩む高齢者に関する法律相談」をはじめ、「新潟県社会福祉

史の基礎的研究」「続 新潟県社会福祉史の基礎的研究」、また豊富な介護経験を基に阿川佐和子が語る「見る力」、一人をこよなく愛する下重暁子著の「極上の孤独」、そして伝える力を磨く伊藤羊一著の「1分で話せ」など多彩です。

また、新潟医療福祉大学から交流事業として借用した図書は、ユニゾンの図書館で読むと同時に貸し出しも行っています。6月の第1回目はシニア向けの生き

◆新着購入図書からの主なオススメ◆

エピソードで学ぶ成年後見人 Part II—虐待等対応と後見活動の視点— 池田恵利子 著
実例 弁護士が悩む高齢者に関する法律相談
家庭裁判所における成年後見・財産管理の実務
成年後見人・不在者財産管理人・遺産管理人・相続財産管理人・遺言執行者 片岡武ほか 著
新しい家族信託 遺言相続、後見に代替する信託の実際の活用法と文例 遠藤英嗣 著
新潟県社会福祉史の基礎的研究 矢上克巳 著
続 新潟県社会福祉史の基礎的研究 矢上克巳 著
未来の年表2 河合雅司 著
逃げられない世代 宇佐見典也 著
転げ落ちない社会 宮本太郎 著
極上の孤独 下重暁子 著
1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365 デヴィッド・S・キダー他 著
スタンフォード式 疲れない体 山田知生 著
そっと無理して、生きてみる 高橋幸枝 著
見る力 阿川佐和子 他 著
介護民俗学という希望「すまいるほーむ」の物語
複合介護 成田光江 著
子どもの貧困 渡邊由美子 著
地域福祉の弱みと強み 菊池まゆみ 著
読書という荒野 見城徹 著
老後の資金がありません 垣谷美雨 著
1分で話せ 伊藤羊一 著
自助論 S・スマイルズ

◆医療福祉大学新着図書からの主なオススメ◆

「現場」のちから：社会福祉実践における現場とは何か 尾崎新 著
介護に役立つアロマセラピーの教科書：現場で実践されている、心と身体のアロマケア 桜井かつみ 著
介護・看護現場のレクリエーション：考え方と実践例 西村誠 著
対人援助の現場で使える聴く・伝える・共感する技術便利帖 大谷佳子 著
介護現場のクレーム対応の基本がわかる本：プロフェッショナルの仕事術 濱川博招 著
ねたきりゼロQ&A：介護現場からの73の質問 三好春樹 著
介護現場は、なぜ辛いのか？特養老人ホームの終わらない日常 本岡類 著
合理的配慮、差別的取扱いは何か？障害者差別解消法・雇用促進法の使い方 DTP 日本会議 編
これならわかるスッキリ図解障害者差別解消法 二本柳覚 著
障害者差別禁止法とソーシャルワーク ジョン・T・パーデック 著
認知症になっても人生は終わらない：認知症の私が、認知症のあなたに贈ることは 認知症の私たち 著
うつの世界にさよならする 100冊の本：本を読んでココロをちょっとラクにしよう 寺田真理子 著
言葉の力、作業の力：自己を対象とした事例研究を読み解く 濱中直子 編著
医療・介護の現場で働く人の接遇の教科書：患者・利用者の心にひびく接し方
高齢者の食と栄養管理 日本栄養・食糧学会 監修
脳は回復する：高次脳機能障害からの脱出 鈴木大介 著
だいじょうぶ認知症：家族が笑顔で介護するための基礎知識 和田行男 著
発達障害を仕事に活かす 星野仁彦 著
ボクには世界がこう見えていた：統合失調症闘病記 小林和彦 著



新潟医療福祉大学の図書特設コーナー

方や食事、健康づくりなど内容でした。

第2回目の今回は、福祉の専門分野が多くなっています。「現場」のちから 社会福祉実践における現場とは何か」や「介護現場は、なぜ辛いのか」など福祉の現場に関するものや「介護に役立つアロマセラピーの教科書」、ほかに「うつの世界にさよならする100冊の本」「言葉の力、作業管理」などとなっています。

特設コーナーを設けてありますので、ぜひ手に取って読んでください。

今年の読書週間（9日まで）の標語は、「ホッと一息 本と一息」です。新潟ユニゾンプラザ（新潟市中 央区上所）に来館の折は、「ユニゾンの図書館」にも気軽に立ち寄り「ホッと一息」ついてください。どなたでも利用できる皆さんの図書館です。

Information Red Feather

赤い羽根 情報

赤い羽根共同募金運動 開始セレモニーを開催

10月1日に新潟市の新潟日報メディアシップで「赤い羽根共同募金運動開始セレモニー」を開催しました。

セレモニーでは、57回目となる空の第一便伝達式のほか、ひまわり保育園（新潟市江南区）の園児からのありがとうメッセージ、街頭募金を実施しました。

ありがとうメッセージでは共同募金助成で整備した遊具について園児の皆さんが「素敵な遊具をありがとうございました。みんなで仲良く遊びます」と元気いっぱい挨拶しました。



ありがとうメッセージ

その後、皆様から街頭募金活動を行っていただき、園児からも募金をいただきました。



街頭募金

西日本豪雨義援金を 贈呈

新潟日報社と新潟放送が県民に呼びかけた義援金466万7390円（両社からの拠出金、各100万円を含む）を中央共同募金会へ贈呈していただきました。

贈呈式は9月10日に新潟ユニゾンプラザで行われ、新潟日報社の小田敏三社長からは「被災地の再建に役立てて欲しい」、新潟放送の竹石松次会長からは「県民に呼びかけ、被災地を支援するのが私たちの使命だ」との挨拶がありました。

中央共同募金会の渋谷篤男常務理



贈呈式の様子

事は「この義援金は新潟県の皆様から被災地への温かい励ましの気持ちです」と感謝の言葉を述べられました。

障害者支援施設車両 助成交付式を開催

県遊技業協同組合による障害者施設への車両助成交付式が、9月13日に新潟ユニゾンプラザで行われました。

交付式では、当会の小田会長から社会福祉法人長岡福祉協会の田宮崇理事長と社会福祉法人村上岩船福祉会の田巻清美施設長に助成目録が贈呈されました。

県遊技業協同組合の佐藤孔一理事長からは「今後も地域の支援活動の推進に取り組んでいきたく」と挨拶がありました。

田宮理事長から



贈呈式の様子

「大型車両は必要不可欠。フル活用したい」と感謝の言葉がありました。

第6回赤い羽根 チャリティゴルフを開催

10月8日、第6回赤い羽根共同募金チャリティゴルフコンペが新津カントリークラブで開催され、151人の参加者が秋晴れの下、熱戦を繰り広げました。

表彰式では、参加者全員から15万1千円の募金と、新津カントリークラブ新潟観光開発様から5万円の寄付をいただきました。

優勝者をはじめ各賞の対象者には協賛企業から提供された豪華な賞品が贈られました。



募金の贈呈

ソウェルクラブ
Sowel
CLUB

会員数

26.2万人

(2018年3月現在)

新規会員募集中

ソウェルクラブには、
職員が求めている
福利厚生があります。

福利厚生センター(ソウェルクラブ)は…

社会福祉事業・介護保険事業に従事する方の福利厚生を全国一括で展開し、スケールメリットを活かすことにより、個々の法人では実現が難しい充実したサービスを提供しています。

1

加入のメリット

- ・職員のリフレッシュやストレス解消
- ・職員の就労意欲の向上
- ・職員のチームワークの構築 など

職場環境が改善することにより、さまざまな効果を実感していただけます。

2

充実したサービス

健診費用の助成、健康生活用品給付、各種お祝品、弔慰金をはじめとした基本サービスに加え、地域密着サービス、クラブオフなど幅広いサービスを展開しています。

3

掛金はわずか年1万円/人

会員1人当たり年1万円のご負担のみで、ソウェルクラブが提供する全てのサービスが利用できます。

また、掛金が年5千円の非常勤職員向けコース(サービスは一部限定)も用意しています。

資料請求はこちら

<法人・事業所のご担当者の皆さまへ>

ご希望の方には、ソウェルクラブのサービス内容をコンパクトにまとめたパンフレットを送付いたしますので、お気軽に下記宛てにご連絡ください。

ソウェルクラブ
Sowel
CLUB

社会福祉法人 福利厚生センター

<http://www.sowel.or.jp> 詳しくは で または、お電話でお問い合わせください。

TEL ☎ 0120-292-711 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビル10階

賠償・傷害のセットプランをおすすめします!!

平成30年度

全社協 保育所の損害補償

スケールメリットを活かした有利な補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

● 簡単、便利なインターネットで手続きを

ふくしの保険

検索

(保険期間 1年)

<http://www.fukushihoken.co.jp>

基本セット補償

	賠償責任	保険金額	年間保険料	
			定員数	保険料
対人賠償	1名→1億円 1事故→7億円	41～50名	22,700円	
対物賠償	1事故→1,000万円			
受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	51名以降 1～10名増ごとに 90名まで	1,200円	
人格権侵害	期間中→1,000万円	91～100名	29,300円	
事故対応特別費用	期間中→500万円	101名以降 1～10名増ごとに 150名まで	1,200円	
被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)	151名以降 1～10名増ごとに	1,420円	
死亡保険金	121.2万円	園児1名 1口あたり (2口まで加入できます)	870円	
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%			
入院保険金	1,700円*			
通院保険金	1,100円			

基本セット補償保険料計算例

100名で加入の場合

賠償	29,300円
傷害	870円
870円×100名	87,000円
×1口	
合計	116,300円

* 手術保険金のお支払額は、入院中の手術の場合：入院保険金日額の10倍、外来の手術の場合：入院保険金日額の5倍となります。

天災セット補償

	賠償責任	保険金額	年間保険料	
			定員数	保険料
対人賠償	1名→2億円 1事故→10億円	41～50名	28,000円	
対物賠償	1事故→1,000万円			
受託物賠償	200万円(自己負担なし) うち現金補償→20万円限度	51名以降 1～10名増ごとに 80名まで	1,500円	
人格権侵害	期間中→1,000万円	81～90名	33,900円	
事故対応特別費用	期間中→500万円	91～100名	36,200円	
被害者対応費用	1事故→10万円限度 (見舞金・見舞品は1名につき5万円限度)	101名以降 1～10名増ごとに 150名まで	1,500円	
死亡保険金	108万円	151名以降 1～10名増ごとに	1,800円	
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	園児1名 1口あたり (2口まで加入できます)	1,190円	
入院保険金	1,500円*			
通院保険金	1,000円			



個別プラン

プラン1
保育所業務の補償

- ① 基本補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償

プラン2
保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3
保育所職員の補償

- ① 保育所職員の労災上乗せ補償
- ② 保育所職員の傷害事故補償
- ③ 保育所職員の感染症罹患事故補償

プラン4
社会福祉法人役員の補償

改定 社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険、個人情報取扱事業者賠償責任保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、財産総合保険、費用利益保険)です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

団体契約者 ▶ 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社 TEL: 03(3349)5137
 受付時間: 平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 ▶ 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

(SJK17-17292 2018.1.12 作成)

引き続き加入施設・加入者数は増加傾向

平成29年度新潟県民間社会福祉職員退職積立基金制度

本制度は、県社協の会員である施設・団体に勤務する職員が退職する際に年金もしくは一時金を支給し、生活の安定に寄与することを目的とし運営しています。

平成29年度末時点での加入者数は22,539名となり前年度に続き、増加傾向にあります。また、男女別でみると男性が28%、女性が72%となっており、年齢別では40代が最も多く26.5%となっています。加入期間別では、1年以上5年未満が最も多く25.3%となっており、10年未満の加入者が全体の59.6%を占めています。

平成29年度における給付状況は、退職年金が計24,725,826円、退職一時金が1,550名に計475,902,472円支給しました。

1 加入施設・加入者の状況

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末
加入施設・団体数	601	616	631
加入者数	21,581	22,121	22,539

※届出の遅れ等により、数値が変動することがあります。

2 年齢・男女別加入者状況

年齢	男性	女性	合計	構成比
20歳未満	16	27	43	0.2%
20歳以上30歳未満	1,284	3,019	4,303	19.1%
30歳以上40歳未満	1,954	3,940	5,894	26.2%
40歳以上50歳未満	1,686	4,298	5,984	26.5%
50歳以上60歳未満	899	3,935	4,834	21.4%
60歳以上	458	1,023	1,481	6.6%
合計	6,297	16,242	22,539	100.0%

3 加入期間・男女別加入者状況

期間	男性	女性	合計	構成比
1年未満	534	1,570	2,104	9.3%
1年以上5年未満	1,511	4,188	5,699	25.3%
5年以上10年未満	1,599	4,033	5,632	25.0%
10年以上15年未満	1,089	2,800	3,889	17.3%
15年以上20年未満	706	1,685	2,391	10.6%
20年以上25年未満	468	1,051	1,519	6.7%
25年以上	390	915	1,305	5.8%
合計	6,297	16,242	22,539	100.0%

4 給付の状況

(単位：円/人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
退職者給付総額	526,541,654	506,205,883	500,628,298
一時金給付総額	508,827,651	485,052,623	475,902,472
一時金給付者数	1,646	1,576	1,550
一時金平均額	309,130	307,775	307,034
年金給付総額	17,714,003	21,153,260	24,725,826
年金延給付者数	476	559	623
年金給付平均月額	12,405	12,614	13,229

福祉NEWS

2018年9月11日～2018年10月10日

■介護業界「辞めたい」14% 2年前調査の1.5倍に

介護職員らの労働組合「日本介護クラフトユニオン」の調査で、月給制で働く介護職員の14%が介護の仕事を辞めたいと思っていることがわかった。2年前の前回調査の9.7%から1.5倍近く増えた。時給制でも10.1%で前回6.9%を上回った。調査は月給制と時給制で働く組合員計4302人を対象に、今年3～4月に実施。2994人(69.6%)が回答した。

■ひとり親家庭に米宅配

新潟市の市民団体「にいがたお米プロジェクト」が、児童扶養手当を受給する市内のひとり親家庭などに毎月、無料で米5

キロを宅配する取り組みを11月から始める。民間主導の活動を行政が後押しする県内初の困窮者支援事業で、当面は東区の100世帯が対象となる。生活が苦しい子どもの食のセーフティネットを目指す。

■健康寿命延ばす研究を 小千谷市と新大が協定

住民の健康寿命を延ばすため、小千谷市と新潟大学が9月28日、研究や市民啓発に関する協定を結んだ。協定では診療やデータ解析を通じ、骨粗しょう症や、関節症の患者らの生活習慣の改善、転倒骨折のリスク軽減などを目的に研究を進める。協定の期間は10月1日から3年間。新潟大の教員が小千

谷総合病院で診療を担当しながら研究を進める。

■訪問介護の生活援助に回数基準

厚生労働省は10月から、自宅でヘルパーが掃除や調理をする訪問介護の「生活援助」について、介護の必要度に応じて基準(月27～43回)を設けた。過去の調査で訪問介護の1人当たりの平均利用回数は月10回程度だったが、中には月100回以上の人もいた。「家政婦代わりに使われている」との批判もあり、制度導入を決めた。基準回数以上の介護計画(ケアプラン)は、ケアマネジャーに市町村への届け出を義務付け、妥当性を点検する。

民間福祉施設の火災や災害、防災に備え備品整備に助成 平成30年度社会福祉基金運用益活用助成事業

新潟県社会福祉協議会では「新潟県社会福祉基金（県社協設置）」の運用益を活用し、県社協会員の障害者支援施設ならびに障害者共同生活援助（グループホーム）児童施設に、火災や災害に備える発電機、防災カーテン、ヘルメットなどの防火・防災備品整備や防犯カメラなどの防犯備品整備へ13施設約223万円を助成します。

No.	施設・事業所名	備品名	助成額
1	梨の里	防災カーテン	200,000
2	ケアステーション魚沼	HONDA防音型インバーター発電機900VA EU9IGB エネポ	110,000
3	まきはたの里	自動体外式除細動器（AED）	200,000
4	グループホーム同朋	正弦波インバーター搭載発電機	130,000
5	障害者支援施設 浦田の里	非常用照明器具	170,000
6	ポルカ	防災バッグ、防災カーテン、レール	60,000
7	長久の家	AED（自動体外式除細動器）	200,000
8	障害者支援施設 はまなすの家	防災カーテン（レース）、レール	190,000
9	なないろ	ヘルメット、さすまた、防護楯、警杖	130,000
10	グループホームめくもりの家	防犯カメラ、デジタルレコーダー	200,000
11	障害者支援施設 いずみの里	防災頭巾、折り畳みリヤカー	200,000
12	自立援助ホームたいむ	業務用消火器3kg、防災バッグ	160,000
13	障害者支援施設ロングラン	防犯カメラ	200,000

自動車共済福祉施設割引

このたび社会福祉施設事業者様に向けて自動車共済に「福祉施設割引」を新設いたしました。充実の補償内容と納得の掛金をご確認いただき、ぜひ自動車共済への加入をご検討ください。

社会福祉事業を運営する事業所様が所有・使用する

自動車の自動車共済掛金に **10%割引**

を適用します。

ご加入中の自動車保険の無事故等級も

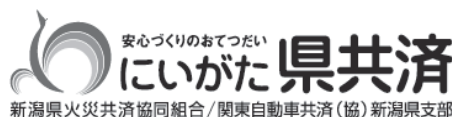
そのまま継承することができます。



経費削減の第一歩にまずはお見積りから！

☆☆福祉施設割引の適用には一定の条件があります。☆☆

※本広告は福祉施設割引の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては下記にお問い合わせください。



火災共済

生命共済

自動車共済

〒951-8133

新潟市中央区川岸町1-47-1 新潟県中小企業会館内

TEL 025-267-1221 FAX 025-233-7255

URL <http://kenkyosai.jp> にいがた県共済で検索

<引受共済：関東自動車共済協同組合> 平成30年9月作成 No.1809107

福祉の店 味わい散歩

カフェ く・る・む

社会福祉法人 長岡市社会福祉協議会

(長岡市表町2丁目2-21 トモシア1階)

◇10時～16時

◇年末・年始休み

◇☎02558(3)25200



みんなで考えたメニュー、ランチも好評

福祉の拠点である長岡市社会福祉センター「トモシア」1階の交流スペースにあるカフェ。店名は、あらゆる人を温かく「くるんでいきたい」という思いが込められています。

「通りに面した明るい店内は、気軽に立ち寄るお年寄りらの憩いの場ともなっており、リピーターが増えているそうです。オリジナルブレンドコーヒーをはじめ、緑茶やほうじ茶、季節のケーキやクッキーのセット、軽食などを安価で楽しむことができます。



日替わりランチも好評です。出発点となった「おむすびセット」(400円)は週3回で、ほかにカレーや麺類、ハンバーグの各セットが決まった曜日に提供。夏には「夏野菜カレー」や「冷やしうどん」を用

意、季節感も演出しています。

新しいメニューは、接客と調理に携わる障がいのある人と職員、ボランティアの人たちが相談して生み出しています。その代表がアイスコーヒーに生クリームとチョコレートをトッピングした「く・る・むコーヒー」。評判の一品です。11月1日の開店2周年祭では、特別メニューの「手作りミネストローネ」、「手作りおはぎ」なども好評でした。

開店2年、来客らとの交流の中で、障がいのある人たちもその場に合った接客ができるようになってきたと言います。

ず〜む 2018 Vol.32

わかちあうこと

あなたと、あなたのまだ幼い子どもが一緒に外を歩いています。ふと目を落とすと、道ばたに一輪の花が咲いていました。「ねえねえ、見て、お花!」。そう子どもから言われた時、あなたはどのような言葉を返すでしょうか。

心理テストか何かをしようというわけではありません。花に限らず、お父さんやお母さん、自分の側にいる人に、発見とその喜びを伝えようとすると子どもの姿を目にすることがあります。それに対する大人の反応は三様で、家族の状況や親子の関係性が垣間見えるようで、興味深いところ

です。このような「気づき」とその感情を流さずに受

け止めることは、子どもの心を豊かに育むとされていますが、これは大人の場合でも同じことが言えるように思います。相手の気持ちを受容し共感することは、相手の心の安寧にもつながるでしょうし、相手も自分自身を認めていくことにも繋がります。そんな分りきったこと、何を今更と(特に福祉職の方には)言われてしまいがちですが、目まぐるしく過ぎる日々の中で、私たちは知らず知らずのうちにそういったものに心を寄せ、耳を傾けることができなくなっていることがあります。

「うんうん、わかったから、ほら、ちゃんと前見て歩いて」。冒頭のたとえ話に戻ると、何気なくこんな風に返すことの方が多くありません。とても急いでいるとか、よそ見をするとか、危ないとか、やむを得ない状況もあるでしょうし、このこと自体が悪いとは思いません。ですが時には、「わ、ほんとだ。きれいだね」と一緒に目を細める、そんな瞬間を共有することで、より密に、心は結ばれていくものと思うのです。

(実央)



た。現在は、市内の福祉施設や市の機関から声をかけていただいで、行事やキャンペーンのお手伝いをしたり、市民団体のイベントに参加したりしています。一つ一つの活動はささやかですが、毎年呼んでいた

最近では着ぐるみの役をすることも多く、部員は女子ばかりですが、はりきって参加しています。毎回、職員の方や地域のみなさんに温かく迎えていただき、また、その活気に触発されて部員たちも充実した時間を過ご

糸魚川白嶺高等学校

ボランティア部

温かい励ましにやりがい感じて

糸魚川白嶺高等学校ボランティア部は、有志による同好会から始まり、平成22年に部となりました。福祉に興味を持った生徒が集まり、募金活動に参加したり、缶飲料のプルトップを集めて寄付したりと、身近なところから活動を始めまし

ただける行事も増えて、「この間もやってたね。頑張ってるね」と地域のみなさんから親しく声をかけてもらえるようにもなりました。

しています。地域の人の役に立ちたい、将来の職業（福祉関係や教育関係）に役立てたい、などの目的で入部する生徒が多いのですが、実際に活動してみると、周りの人たちから温かい励ましや感謝の言葉をいただき、活動自体にやりがいを感じています。



全国総合文化祭に参加

【部紹介】

現在の部員は7人。活動の中心は、地域行事のお手伝いや啓発キャンペーンの呼びかけ、募金活動。その他にも地域のゴミ拾いやエコキャップ回収、手話の練習などを行っている。

活動の中心は、地域イベ



障がい者とその支援体験

ントのお手伝いですが、平日は週2回程度、放課後に校内での活動もしています。そこでは、手話の勉強の他、集まったエコキャッ

プの洗浄や作文の入力ボランティアなど、自主的活動を行っています。自主活動には、年に1度行われる県高校生ボランティア大会で知った他校の活動も積極的に取り入れています。

部員は、これらの経験をを通して、今まで知らなかった福祉の活動を身近に感じ、また、いろんな世代の人たちと交流することの大

切さを知っていきます。それは部員たち自身にとって大変貴重な経験であるとともに、地域の人をも元気づけています。

今年度は全国高等学校総合文化祭にも参加でき、更に見聞を広めることができました。他の部活動や生徒会活動と掛け持ちの部員もいますが、できる範囲でがんばっています。これからも地域のみなさんと協力して糸魚川の町を盛り立てていきたいと思えます。

ボランティア部顧問

長谷川 美香

Ⅱ次回は1月号に掲載Ⅱ

第5回新潟県高等学校ボランティア大会

- ◆日時 11月6日(火) 10時30分～16時
- ◆会場 アオーレ長岡 市民交流ホールA
- ◆入場無料、どなたでもご来場いただけます
- 10:30～ 活動発表会
- 13:00～ 交流会(ホールBC)
- 14:15～ 記念講演会
- 演題 「ボランティアが障害者をつくる!?～思いやりの危うさ」
- 講師 海老原宏美氏
(人工呼吸器ユーザーの地域支援のために仲間と「呼ネット」副代表)
- ◆問い合わせ 県高文連ボランティア専門部 栗川
(電話 070-5010-5833)

新潟の民話

昔、王瀬に長者が住んでいました。信濃川にはオオスケコスケという鮭の主がいて、霜月15日はオオスケコスケが川上のお宮を参る日なので、漁は休むことになっていました。しかし、王瀬長者はこれを捕らえようと、漁をするよう漁師に言いつけました。

漁の前の晩、オオスケコスケが長者の

鮭のオオスケコスケ 信濃川の主、その捕獲は裏切りの暗示？

夢枕に立ち、漁をやめるように言いました。長者は構わずに漁をさせましたが、1匹も魚が獲れませんでした。このことがあってからまもなく、長者の家は没落しました。この話は産卵のために遡上する鮭を捕らえることを禁じた話なのでしようか。

景行天皇の時代、全国を平定するため各地に天皇家の人が派遣され、沼垂に天皇の皇子が来たという伝承があります。2人の皇子は王五・王六と言いました。

その後、孝徳天皇の時代にここに淳足の柵が作られました。朝廷の支配に従わなかった蝦夷を服属させるための前線基地です。オオスケコスケの伝説は、アイヌの人が神の魚と呼んでいる鮭が登場します。蝦夷とアイヌが同じ人々であれば、王瀬長者が決まり事を破ったのは、それまで仲良くしていた蝦夷を裏切ったことを暗示しているのかもしれない。王瀬長者は王五・王六の子孫だったのかもしれない。

屋敷跡は地名となり、木戸のあった所

が今の上木戸・中木戸・下木戸・山木戸で、牡丹を植えた庭が牡丹山だといわれています。牡丹山諏訪神社からは円筒埴輪や5世紀の鎧が出土し、日本最古の城柵へ思いが広がります。

文・絵 高橋 郁丸

(新潟県民俗学会理事・)

新潟妖怪研究所長)



新潟ユニゾンプラザ 情報

◆主な貸室の紹介 【多目的ホール】



各種の視聴覚設備を取り揃えたホールです。448席のうち、前側112席はステージの下に収納できます。また、ホールには、子ども連れの方用に「親子室」があります。

【座席数】 448席
固定席：336席
可動席：112席
【舞台】
間口：14.6m
奥行：8.1m
高さ：7.6m



【多目的ホール親子室】

貸ホール・貸会議室は新潟ユニゾンプラザへ

多目的ホール、大会議室、大・中・小研修室など用途や規模にあわせてご利用いただけます。

無料の専用駐車場（220台）を完備しております。

◆貸室の利用申込方法

ユニゾンプラザホームページよりお申し込みください。貸室の予約状況も公開しています。

URL：http://www.unisonplaza.jp/

【保育ルーム】



【授乳室】



施設内にてイベント開催時には、主催者が保育ルームを開設し、子どもを預ける場所として無料でご利用いただけます。館内の貸出施設と合わせてご予約ください。また、館内には「授乳室」もあります。

福祉の現場

岩崎 典子さん

(ボランティア団体 marugo-to (まるごと) 代表)

No.34

4、5年前からの思いが具
体化しました。昨春秋ころか
ら新潟市西蒲区社会福祉協議
会と構想を詰め、今年6月4
日に2棟のビニールハウスを
拠点とした「まるごと」がス
タートしました。
毎週月曜日の午前中、大人
も子どもも参加できる、すべ
ての人がやりがいと生きがい
を持って行く(gooto)こと
ができる場所です。
「気軽に来てほしい。地域の
茶の間などは女性が多くなり
がちで、男性は行き場が少な
い。でも男性はパワーもあり、
持てる知識を生かす場として
ほしい」と男性シニアの参加に
期待を寄せています。ひきこ



農福連携の思い結実。多くの人に来てほしい

もりの人にも「ここをベースに、
外に出られるようになったら良
いな」と心の訓練場としての活
用を望んでいます。
訪問介護事業所の管理者の経
験を生かして、「ライフパート
ナーかくだ山」を立ち上げ、西
蒲区でケアマネジャーとして、
認知症の人を中心にした居宅介
護支援に奮闘しています。
「グループホームをやりた
かった」。同時に「農業が衰退す
る中で、その知識を生かし伝え
ることができたら。そのため
に自分が農業を知らなければ、
とサツマイモ作りから始めた」と
言います。「農福連携」という
言葉が、盛んに使われるよう
なる前から構想を抱いていたと
のことです。「まるごと」でそ
の一步が実現しました。
「多くの人に知ってもらい、
来てもらいたい。各の力量でや
れることが、ビニールハウスに
ある」
エネルギッシュで笑顔が絶え
ない岩崎さん。ハウスにも笑い
声があふれています。
家族の全面的な協力を得ての
運営。夫をはじめ義父、義母、
そして息子と娘も立ち上げから
手伝いに来てくれていると言
います。

シニアカレッジ新潟 30周年記念公開講演会



(鎌田 實氏)

- 期 日 平成30年12月19日(水)
- 時 間 13:00～16:30
- 会 場 新潟ユニゾンプラザ多目的ホール(新潟市中央区上所)
- 主な内容
 - ①オープニングセレモニー
 - ②主催者・学長あいさつ
 - ③卒業生活動事例発表
 - ④鎌田實氏による記念講演及びサイン会
- 入場無料 どなたでも参加できます。(事前に申し込みください)

シニアカレッジ新潟(事務局・新潟県社会福祉協議会)は設立30周年を記念し、「ベストセラー」が「がんばらない」の著者であり、医師である鎌田實氏を招き公開講演会を開催します。多くの県民の皆さんのお越しをお待ちしています。
シニアカレッジ新潟(旧新潟県高齢者大学)は、シニア世代へ学習の機会を提供し、仲間づくりや地域活動の担い手を養成することを目的として平成元年に設立され、今年30周年を迎えました。
これを記念して、現在、同窓会事業企画会議のメンバー(シニアカレッジ新潟卒業生)により、当日は講演会をはじめ、卒業生や在学生、また県民の方々が楽しめるイベントの開催を計画しています。

「申し込み・問い合わせ」
新潟県社会福祉協議会
地域福祉課 石川、目崎
025-285-1400

「意見」感想お寄せください
「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、
知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
◆TEL 0950-85575 新潟市中央区上所2-1-2
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆Eメール oasis@fukushininigata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人/関谷 政友
定 価/5円(会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
平成30年11月1日発行(毎月1日発行)
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷/島津印刷㈱